



東京産業保健総合支援センター研修案内(平成26年5月～平成26年7月)

◇研修のお申し込みは、FAX以外に当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.sanpo-tokyo.jp/>

◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

※同じテーマ・講師の研修を複数回受講されても、単位の発行は1回限りとさせていただきます。

| 日時 | テーマ | 講師 | 単位 | 定員 |
|-------------------------|--|---------------|--------------------|----|
| 5月1日(木) 14:00～16:00 | 快適職場づくりとメンタルヘルス対策及び法令に関して 労働基準行政のトピックスと精神障害の労災認定基準と認定の現状について触れます。また、中小企業向けメンタルヘルス対策を考える上で、人間関係面からの快適職場づくりが注目されています。厚生労働省が開発した快適職場調査を体験していただきます。他の事業場と比較しやすいモデル事業の調査結果の解説を行います。希望者には当日使用したスライドを電子媒体で差し上げます。 | 古山 善一 | 生涯・更新 ² | 70 |
| 5月15日(木) 14:00～16:00 | 職場復帰支援のあり方 職場復帰支援の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルスマネジメントの一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。 | 大西 守 | 生涯・専門 ² | 70 |
| 5月16日(金) 13:30～16:30 | 作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の二酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。 | 岩崎 毅 市川 英一 | 生涯・実地 ³ | 30 |
| 5月22日(木) 14:00～16:00 | 事例検討～産業医としてどう対応するか～ 職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、グループワーク、全体発表を通じて参加者全員で考えていきたいと思います。 | 内田 和彦 | 生涯・実地 ² | 40 |
| 5月28日(水) 14:00～16:00 | 海外勤務者の健康管理～海外出張者対策を含めて～ 海外に社員を派遣する企業にとっては海外勤務者の健康管理対策の構築が欠かせないものとなっています。とくに最近では、海外出張を繰り返す形で事業を運営する企業が増えています。海外出張者の健康問題についても十分な対策が求められています。本講義では海外駐在員とともに海外出張者の健康管理対策について解説します。 | 濱田 篤郎 | 生涯・専門 ² | 70 |
| 6月3日(火) 14:00～16:00 | 職場における生活習慣病の予防 生活習慣病の予防は、我が国の公衆衛生の中で極めて重要な位置を占め、特に職場での予防活動が健康寿命の延伸に重要な役割を果たします。ここでは、職場における生活習慣病の予防を一次予防、二次予防、そして、三次予防の観点から現在行われている諸活動の有効性について総合的に考察し、今後の生活習慣病予防のあり方について考えます。 | 山口 直人 | 生涯・専門 ² | 70 |
| 6月13日(金) 13:30～16:30 | 作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の二酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。 | 岩崎 毅 市川 英一 | 生涯・実地 ³ | 30 |
| 6月17日(火) 14:00～16:00 | 快適職場づくりとメンタルヘルス対策及び法令に関して 労働基準行政のトピックスとストレスチェックの実施結果に触れます。また、中小企業向けメンタルヘルス対策を考える上で、人間関係面からの快適職場づくりが注目されています。厚生労働省が開発した快適職場調査を体験していただきます。他の事業場と比較しやすいモデル事業の調査結果の解説を行います。希望者には当日使用したスライドを電子媒体で差し上げます。 | 古山 善一 | 生涯・更新 ² | 70 |
| 6月20日(金) 14:00～16:00 | 産業医制度の変遷と現行制度 わが国においては幕末から産業医に類する医師が存在し、1938年(昭13)から一定の工場に工場医選任義務が課せられました。戦後の労働基準法に基づく「医師たる衛生管理者」制度を経て現行の労働安全衛生法に基づく産業医制度となっています。これらを時代背景とともに理解し、産業医の在り方について考える機会とします。 | 石井 義脩 | 生涯・専門 ² | 70 |

| 日時 | テーマ | 講師 | 定員 |
|-------------------------|---|-----------------------------|----|
| 7月1日(火) 14:00～16:00 | 快適職場づくりとメンタルヘルス対策及び法令に関して 労働基準行政のトピックスと「メンタルヘルス、私傷病などの治療と職業生活の両立支援に関する調査」結果速報版に触れます。また、中小企業向けメンタルヘルス対策を考える上で、人間関係面からの快適職場づくりが注目されています。厚生労働省が開発した快適職場調査を体験していただきます。他の事業場と比較しやすいモデル事業の調査結果の解説を行います。希望者には当日使用したスライドを電子媒体で差し上げます。 | 古山 善一 生涯・更新 ² | 70 |
| 7月4日(金) 14:00～16:00 | 健康診断事後措置の具体的事例～ケースカンファレンス～ 健康診断の事後措置について、「就業に関する医師等の意見」に焦点をあて、その解説に加えて事例のグループ討議を行います。産業医がどのように事後措置へ関るのかの理解を深めることを目的とした研修です。 | 竹田 透 生涯・実地 ² | 40 |
| 7月8日(火) 14:00～16:00 | 過重労働による健康障害防止対策の進め方 増え続ける過労死、過労自殺にどう対処するか。労働者健康福祉機構から出されている過重労働に対する面接指導のための「チェックリスト」を使い、効率的な面接指導の仕方を解説していききたいと思います。 | 土屋 譲 生涯・専門 ² | 70 |
| 7月18日(金) 14:00～16:00 | 産業保健活動 産業医としての業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～ 対象として、産業医業務の基本的事項について解説致します。具体的には、安全衛生計画の立案(評価)や安全衛生委員会の開催(運営)、職場巡視の実施や過重労働による健康障害防止活動の進め方等、産業医の関わる基本的な安全衛生事業について具体的な例を示しながら進めたいと思っています。産業医業務の実際についてご経験の少ない方々を歓迎致します。 | 角田 透 生涯・専門 ² | 70 |
| 7月23日(水) 14:00～16:00 | 過重労働による健康障害防止～関係法令・通達～ 増え続ける過労死、過労自殺にどう対処するか。労働者健康福祉機構から出されている過重労働に対する面接指導のための「チェックリスト」を使い、効率的な面接指導の仕方を解説していききたいと思います。 | 炭山 隆 生涯・更新 ² | 70 |

◆保健師・看護師研修◆ (実力アップコース単位認定)

※産業看護基礎コース・短縮Nコース未修了の方も受講できます。

| 日時 | テーマ | 講師 | 単位 | 定員 |
|-------------------------|---|-----------------|---------------------------|----|
| 5月29日(木) 14:00～16:00 | 実践的職場復帰支援～職場復帰支援プログラム「モデルプログラム」の取り組みについて～ 50人未満の小規模、50人以上の中規模以上の事業場向けに合わせた職場復帰支援プログラムのモデルです。できるだけシンプルにして、支援するスタッフが取り組みやすい仕組みで復帰支援ができるよう作成を考えました。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 古山 善一 菅野 由喜子 | 単位なし | 30 |
| 6月5日(木) 14:00～16:00 | 職場における救急体制 職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 高山 俊政 | 単位なし | 40 |
| 6月26日(木) 14:00～16:00 | 実践的職場復帰支援～職場復帰支援の「担当マニュアル」と「休業のしおり」～ 実際に支援する事業場の関係するスタッフの皆さん、誰が何をするかを具体的に、復帰手順に沿ってわかりやすく作ったものです。休業者の方にも安心して療養し復帰していただけるように対応する事業規模に合わせたものを作成しました。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 古山 善一 菅野 由喜子 | 単位なし | 30 |
| 7月9日(水) 13:30～16:30 | 職場の喫煙環境対策の進め方・労働衛生保護具の選定について～測定機器の操作・測定実習～ 職場の喫煙環境対策のために「デジタル粉じん計」や「スモークテスター」等の測定機器を用いた測定実習や防塵、防毒マスクを使用したマスクテスター。耳栓チェッカーを使用した騒音実習。 | 市川 英一 | IV-4-(8) ・IV-5-(8) 2単位 | 30 |
| 7月14日(月) 14:00～16:00 | メンタルヘルス[社内研修の進め方]～セルフケア～ メンタルヘルスケアの基本は一人ひとりのセルフケアにあります。予防という観点からストレスマネジメント方法の指導の仕方について解説します。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 松井 知子 | IV-3-(4) 1単位 | 40 |

| 日時 | テーマ | 講師 | 定員 |
|-------------------------|--|-----------------|----------------------|
| 7月15日(火) 14:00～16:30 | ブラッシュアップ 職場の保健指導 職場の保健指導の目的の一つは、業務に関連する健康障害の予防と悪化の防止です。ともすると検査データのみに着目し、生活習慣改善に向けた保健指導に終始しがちですが、作業や作業環境も含めた対象者把握が欠かせません。身体的愁訴が、メンタルヘルス不調による場合もあります。グループワークとロールプレイを取り入れて優先順位を考慮した保健指導の習得を目指します。 | 飯島 美世子 | V-5-(4) 1単位 40 |
| 7月25日(金) 14:00～16:30 | DVDによるシュミレーションで学ぶ～実践的面接スキル向上トレーニング～ カウンセリングの基本スキルである傾聴力とアセスメント(見立て)力を鍛える実践的な面接スキルの研修です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 廣川 進 松島 尚子 | V-5-(4) 1単位 40 |
| 7月31日(木) 14:00～16:00 | 実践的職場復帰支援～職場復帰支援の取り組みの事例について～ 実際の職場における復帰ができた事例や退社した事例等を踏まえて、その課題や問題点を出して、今後の復帰支援のあり様を一緒に考えていきたいと思えます。事例によりその対応、求めるものの違いも様々かもしれない。その辺の現場の実態も情報交換しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 古山 善一 菅野 由喜子 | 単位なし 30 |

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

※単位等の取得はできません。

| 日時 | テーマ | 講師 | 定員 |
|-------------------------|--|-----------------|----|
| 5月13日(火) 14:00～16:00 | 労働衛生管理の基礎と事例～新任衛生管理者、人事労務担当者が取り組む安全衛生管理の推進について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、階層別労働衛生教育の進め方について事業所、関連部門を巻き込んで実行するための対策を、他社事例を通して実践ができるようにします。 | 古山 善一 吉田 守 | 70 |
| 5月20日(火) 14:00～16:00 | 労働衛生管理の基礎(事例編)*受講者参加型の研修会* 安全衛生全般について、参加者企業の問題点、課題を持ち寄り、他社の担当者や意見交換し安全衛生活動の好事例が水平展開できる場を提供いたします。今回の主要テーマとして新任衛生管理者、人事労務担当者が取り組む安全衛生管理の推進について参加者の皆さんと積極的なディスカッションを行います。 (安全衛生に関わる情報ネットワークを構築する為に名刺交換の時間を設けます。差し障りなければ名刺をご持参願います。) 研修開始前後の1時間を利用して、過去の「基礎と事例」などで古山講師が使用した教材を差し上げます。希望者はUSBメモリーを持参のうえ受付にお申し出ください。 | 古山 善一 吉田 守 | 12 |
| 5月29日(木) 14:00～16:00 | 実践的職場復帰支援～職場復帰支援プログラム「モデルプログラム」の取り組みについて～ 50人未満の小規模、50人以上の中規模以上の事業場向けに合わせた職場復帰支援プログラムのモデルです。できるだけシンプルにして、支援するスタッフが取り組みやすい仕組みで復帰支援ができるよう作成を考えてみました。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 古山 善一 菅野 由喜子 | 40 |
| 6月5日(木) 14:00～16:00 | 職場における救急体制 職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 高山 俊政 | 10 |
| 6月10日(火) 14:00～16:00 | 労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会と職場巡視の効果的な進め方について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、管理監督者に対する労働衛生教育(快適職場環境の形成)の進め方について事業所、関連部門を巻き込んで実行するための対策について、他社の事例を通して実践できるようにします。 | 古山 善一 吉田 守 | 70 |

| 日時 | テーマ | 講師 | 定員 |
|-------------------------|---|-----------------|----|
| 6月24日(火) 14:00～16:00 | 労働衛生管理の基礎(事例編)*受講者参加型の研修会* 安全衛生全般について、参加者企業の問題点、課題を持ち寄り、他社の担当者 と意見交換し安全衛生活動の好事例が水平展開できる場を提供いたします。 今回の主要テーマとして安全衛生委員会と職場巡視の効果的な進め方について 参加者の皆さんと積極的なディスカッションを行います。(安全衛生に関わる情報 ネットワークを構築する為に名刺交換の時間を設けます。差し障りなければ名刺を ご持参願います。) 研修開始前後の1時間を利用して、過去の「基礎と事例」などで古山講師が使用 した教材を差し上げます。希望者はUSBメモリーを持参のうえ受付にお申し 出ください。 | 古山 善一 吉田 守 | 12 |
| 6月26日(木) 14:00～16:00 | 実践的職場復帰支援～職場復帰支援の「担当マニュアル」と「休業 のしおり」～ 実際に支援する事業場の関係するスタッフの皆さん、誰が何をするかを具体的に に、復帰手順に沿ってわかりやすく作ったものです。休業者の方にも安心して 療養し復帰していただけるように対応する事業規模に合わせたものを作成しま した。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 古山 善一 菅野 由喜子 | 40 |
| 7月10日(木) 14:00～16:00 | 労働衛生管理の基礎と事例～産業保健スタッフによる労働衛生教育 の展開と自主自律の健康管理について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定し ています。今回は、企業の安全配慮義務違反をリスクと考えた快適職場環境の 形成について、他社事例を通して具体的な展開が図れるようにします。 | 古山 善一 吉田 守 | 70 |
| 7月14日(月) 14:00～16:00 | メンタルヘルス[社内研修の進め方]～セルフケア～ メンタルヘルスクエアの基本は一人ひとりのセルフケアにあります。予防という観 点からストレスマネジメント方法の指導の仕方について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 松井 知子 | 30 |
| 7月17日(木) 14:00～16:00 | 労働衛生管理の基礎(事例編)*受講者参加型の研修会* 安全衛生全般について、参加者企業の問題点、課題を持ち寄り、他社の担当 者と意見交換し安全衛生活動の好事例が水平展開できる場を提供いたしま す。今回の主要テーマとして産業保健スタッフによる労働衛生教育の展開と自 主自律の健康管理について参加者の皆さんと積極的なディスカッションを行 います。(安全衛生に関わる情報ネットワークを構築する為に名刺交換の時間 を設けます。差し障りなければ名刺をご持参願います。) 研修開始前後の1時間を利用して、過去の「基礎と事例」などで古山講師が使用 した教材を差し上げます。希望者はUSBメモリーを持参のうえ受付にお申し 出ください。 | 古山 善一 吉田 守 | 12 |
| 7月25日(金) 14:00～16:30 | DVDによるシュミレーションで学ぶ～実践的面接スキル向上トレー ニング～ カウンセリングの基本スキルである傾聴力とアセスメント(見立て)力を鍛える実 践的な面接スキルの研修です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 廣川 進 松島 尚子 | 30 |
| 7月31日(木) 14:00～16:00 | 実践的職場復帰支援～職場復帰支援の取り組みの事例について～ 実際の職場における復帰ができた事例や退社した事例等を踏まえて、その課 題や問題点を出して、今後の復帰支援のあり様を一緒に考えていきたいと思 います。事例によりその対応、求めるものの違いも様々かもしれない。その辺の現 場の実態も情報交換しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) | 古山 善一 菅野 由喜子 | 40 |